

R7 第1回学校評価アンケート（児童）集計結果

「児童アンケート自由記述から見える改善の方向性」

児童の自由記述から、学校生活に対する具体的な期待と課題が見えてきました。以下に、主なテーマと対応の方向性を整理します。

1. 安心・安全の確保（いじめ・乱暴な言動・騒々しい態度）

いじめや乱暴な言動への不安が複数あり、見守り体制・相談窓口の強化・事前指導強化が必要。
授業中の態度やふざけへの対応も求められている。

⇒対応案：教職員間での情報共有、児童会との連携、スクールカウンセラーの活用。

2. 制服・服装の柔軟化

女子用長ズボンの要望が多数。冬季の寒さ対策も含めた見直しが必要。
⇒対応案：制服業者との協議、保護者アンケートの実施。

3. 図書館・学習環境の整備

本の充実とマナー指導の両立が求められている。
⇒対応案：図書委員会との連携、図書館利用ルールの再確認。

4. 給食の質と楽しみの向上

味・内容への不満と季節食への期待などが混在。
⇒対応案：栄養士との協議、児童アンケートの継続実施。

5. 遊具・運動環境の改善

遊具の増設・補修、クラブ活動の充実への期待。
⇒対応案：保護者の会・地域との協力、80年記念での取組ほか予算検討。

6. 行事・イベントの創出

自主的な企画や季節行事への関心が高い。
⇒対応案：児童会との企画協働、年間行事の見直し。

7. 縦割り班・委員会活動の質向上

活動の楽しさとルール遵守の両立が課題。
⇒対応案：活動目的の再確認、班編成の工夫。

8. 意見表明の仕組みづくり

目安箱や相談時間の改善要望が多い。
⇒対応案：回答体制の明確化、児童会との連携強化。

9. 授業の質と規律の向上

授業中の騒音、専科の楽しさなどへの声。
⇒対応案：授業規律の共有、教科ごとの工夫共有。

10. 学校文化の育成と発信

「探究する子、心磨く子、リーダーシップのある子」等、明星小の理念を児童自身が意識している。
⇒対応案：教育実習生との交流、他校との連携企画の検討。